

(4) 多年生イネ科雑草の防除対策

1) シバムギ（クワックグラス：以下 QG）

①QG とは

QG は、主に地下茎によって拡大する多年生イネ科雑草です。根釦地域は QG がほ場の 20%を占めていると言われていています¹⁾。茎が細く倒伏に弱いため、牧草の品質低下の要因となる雑草です。適期に収穫すれば栄養価は低くありませんが、収量がチモシーと比較して8割ほどしかありません。

②生育過程

QG の生育的特徴として、種子による繁殖は稀で、地下茎による栄養繁殖が主であることが挙げられます。地下茎には節があり、それぞれに休眠芽があります。地下茎全体に除草剤の有効成分が浸透していない状態で耕起作業を行うと、切断された地下茎の休眠芽から再生してしまいます。

1 回目と2回目の除草剤散布の間隔は非常に重要で、十分な期間を確保します。

③更新防除方法

更新防除方法は、次ページにある作業カレンダーの「a 1 番草後体系処理Ⅰ」、「b 1 番草後体系処理Ⅱ」、「c 秋夏体系処理」の3つの体系処理があります。



2) リードカナリーグラス（以下、RCG）

①RCG とは

RCG とは、地下茎や種子によって拡大する多年生イネ科雑草です。根釦地域は RCG がほ場の9%を占めていると言われていています¹⁾。粗剛な茎葉で牛の嗜好性が良くありません。また、チモシーと比較して乾物摂取量が1日1頭あたり 1.3kg、産乳量が 1.5kg 低下するとの試験結果があり、RCG 優占ほ場を利用し続けることでの経済的損失は大きいです。

②生育過程

RCG は、チモシーよりも出穂が早く、早ければ5月下旬に出穂します。稔実も早いため、種子によって増殖します。

更新時、耕起後に種子から発芽した個体を処理する必要があります。地下茎が存在し、ほ場内でパッチ状に拡大します。

③更新防除方法

更新防除方法は、次ページにある作業カレンダーの「a 1 番草後体系処理Ⅰ」、「c 秋夏体系処理」の2つの体系処理があります。



1) 根釦地域における QG、RCG の侵入割合は、『強害雑草防除マニュアル 2016』（北海道版）より引用

〔平成 28 年 3 月，一般社団法人 日本草地畜産種子協会／北海道自給飼料改善協議会〕

a 1 番草後体系処理 I (RCG、QG 単独または RCG + QG に有効)

			5月			6月			7月			8月			9月		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
QG 出穂開花時期									出穂期								
									開花期								
RCG 出穂開花時期						出穂期											
									開花期								
更新方法	1 番草後体系処理	当年				刈取						除草剤(前植生処理)	耕起整地				除草剤は種

留意事項

- ・前植生処理は、QG の草丈が 40~50cm、RCG の草丈が 60cm 以下のときに行う
- ・耕起、整地から除草剤、は種までは 30 日以上空ける
- ・除草剤散布後、10 日以上の枯殺期間を確保する

b 1 番草後体系処理 II (RCG が無く、かつ QG の再生が遅い場合)

			5月			6月			7月			8月			9月		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
QG 出穂開花時期									出穂期								
									開花期								
更新方法	1 番草後体系処理	当年				刈取						除草剤(前植生処理)	砕土・は種鎮圧				

留意事項

- ・前植生処理は、QG の草丈が 40~50cm のときに行う
- ・除草剤散布後、10 日以上の枯殺期間を確保する

c 秋夏体系処理 (RCG、QG 単独または RCG + QG に有効)

			5月			6月			7月			8月			9月				
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
QG 出穂開花時期									出穂期										
									開花期										
RCG 出穂開花時期						出穂期													
									開花期										
更新方法	秋夏体系処理	前年																刈取	除草剤
		当年				耕起・整地						除草剤・は種							

留意事項

- ・前植生処理は、草丈が 40cm 程度のときに行う
- ・耕起・整地は雑草の過繁茂を避けるため、6月下旬までの範囲でできるだけ遅らせる
- ・耕起・整地から、除草剤・は種までは 30 日以上あける
- ・除草剤・は種は、7月中には行わない